

どこから来た？茶屋町の鬼

こうしてどうえられた温羅は首をは
められたが、その首はいつまでもうな
り続けた。それほどまでに強い温羅は
吉備津彦命のすい神として吉備津神社
の境内にまづられ、うしとうらみさきと
言われ有名になつた。そのうしとうらみ
さきが早島の鶴崎神社にまづられたこ
とかう、その氏子である早島や帶江の
人々は温羅にちなんだ鬼の面をつけて
村の中をねり歩くようになつたのであ
る。

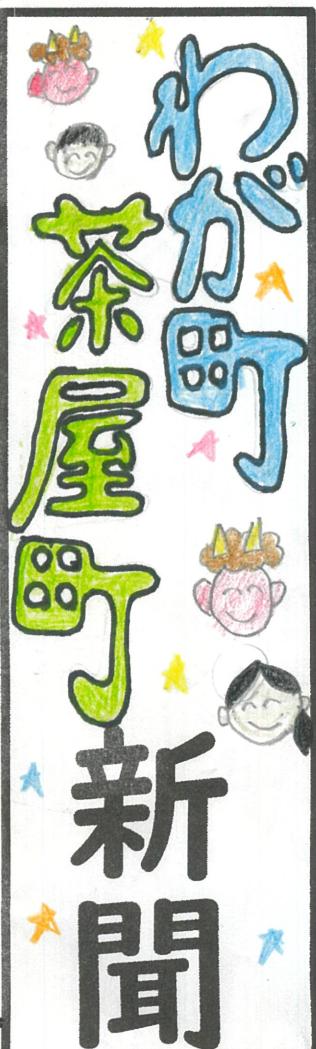
そして茶屋町が干拓された後、早島
や帶江から移り住んだ村人が、鬼の風
習を茶屋町に伝えたことが茶屋町の鬼
の初まりである。

命は考へて二本の矢を一度に放つことにした。すると一本は岩にびつかり、一本は温羅の目に命中した。目からふき出した血は血吸川に流れ赤浜まで赤くそまつたと言われている。

温羅は逃げるためにきじになろうと、命はたかになり追つた。次に温羅は鯉になつて逃げるが命は鶴になつて食いついた。これが後の矢喰神社にちつた。

昔、鬼の城(總社市)に温羅といふ鬼が住んでいた。温羅は大男で目はらんらんと輝き、髭はぼうぼうで性格は凶暴だった。そんな温羅を征伐するため、鬼の城へ行ったのが吉備津彦命だ。よいよい合戦が始まると、強い命でさえ温羅の強さにおどろいた。命が放った矢は温羅が投げた岩にはばまれ、ちていつた。これが後の矢喰神社に。

鬼の初まり 溫羅伝説



第1回

第1行

(二浦
蒼乃介

復活！鬼祭り



The image consists of two parts. The left side is a hand-drawn illustration of a ghost-like figure with a large head, wearing a brown tunic and holding a long staff. The right side is a photograph of two large wooden statues of鬼 (oni) standing on a platform. One oni is holding a spear and shield, while the other is holding a staff. They are positioned in front of a building with a tiled roof, likely a train station.



〈茶屋町公民食官の鬼の面〉



〈茶屋町小学校の キャラクター〉

感想

ぼくはいつも生活していの学校や公民館にある鬼にまつわるものを見てなぜ茶屋町に鬼にかかるのか気になっていた。鬼はみんなに大助にされて二百年以上も続いていることにどういた。ぼくの好きな茶屋町をもう一回活気づけるために、「茶屋町の鬼」という伝統を守りたい。

も鬼を守り続けることが人間の力でこれからいくつたちはの使命だと考へてぼくたちはの使命だと考へている。



〈鬼の形をした茶屋町小学校〉

今も茶屋町公民館では
鬼たっこやおどりの練習
が続けられている。はや
おき保育園では和だいこ
を練習し鬼祭りや住吉神
社の秋祭りに出演したり
もする。昔から受けつが
れてきた伝統を絶やさな
いためにも、今茶屋町に
住んでいるぼくたちが協
力し大切にしていかなければ
ならない。



〈茶屋町駅内の鬼の面〉

今ぼくたちの住んで
いる茶屋町には鬼にま
つわるものがたくさん
ある。例えば茶屋町小
学校の校舎や、鬼だい
こクラブ、駅前の銅像
や鬼祭りなど茶屋町の
色々なとこうで見かけ
ることができる。それ
は、今までの歴史から
人々の鬼への思いが
ながれてきたからこそ

A vertical banner with a yellow diamond border. Inside, the text "みんなの思いをつなげて" is written vertically in blue, and "未来へ。" is written horizontally below it in blue.